



case 02

製造業

株式会社カミテ

育児・介護でリタイアするのはもったいない

働き続けたい、という意志があるのに、育児や介護で仕事を辞めざるを得なくなるのは、従業員にとっても、会社にとっても損失となります。一緒に働き続けるために、その時々従業員の声に応えながら、事業所内託児施設の設置や看護休暇制度の充実を図り、従業員全員が働きやすい環境を整えています。

企業プロフィール

設立: 1988年

本社所在地: 秋田県鹿角郡小坂町

事業内容: 製造業 (プレス金型の設計、製作、精密プレス加工)

従業員数: 36名 (うち女性17名)

休むことは正しい

現在、様々な制度を整えています。以前から社内に休暇を取りやすい雰囲気はありました。「子どもが熱を出した時に休むのは、正しい」というメッセージを常に私から従業員へ向けて送り続けていましたし、制度の整備はそれをより明確な形で示したものです。ただ、制度を整える際には、子育て期を終えた従業員に不公平にならないよう、介護に係る制度も同時に整えました。

介護短時間勤務制度については、これまで1名取得しました。一律な対応はできないので、従業員と相談し、事情に合わせて対応していきました。介護休業の取得回数については3カ月ごとの申請で無制限としていますが、今後、介護休業の増加が予想されますので、ケースバイケースで柔軟に対応していくよう考えています。

男性従業員の育児休業は過去2名取得者がいます。2名とも取得は20日程度で、第1子誕生時のみでしたが、それは当社での男性の育児休業の位置付けが、「育児の基本

特徴的な制度と取組み

- 子の3歳の誕生日の前日まで育児休業制度を整備。
- 子が就学前までは子1人につき5日、小学校から高校卒業までは従業員1人につき3日の看護休暇を整備し、有給で1時間単位での利用が可能。
- 事業所内に託児施設を設置。保育料は無料で、保育士2名が常勤。



代表取締役社長
上手 康弘

を習得して、子育ての大変さを理解する」ところから出発しているためです。日々、育児に携われるように、残業のない働き方や子どもが病気になった時に休む意識が大事ではないかと感じています。

カミテチャイルドハウスの設置

事業所内に託児所を設置するきっかけは、創業2年目から事務に携わっていた従業員からの相談でした。当時、2人目の子どもの育児休業中だったその従業員と復帰に向けて面談をしていたところ、託児所があれば、という話になり、また別の従業員も出産・育児を控えていたことから、中小企業で初でしたが、設置に踏み切ったのです。また、託児所の設置にあたっては、一部の従業員のためだけの施設になる、という不公平感があってはいけません。当時、現在の利用者として将来の利用者を数えると全従業員の約80%が利用すると予想されたので、不公平感も解消することができました。もちろん、この想定には、女性だけではなく、男性従業員も考慮しました。

能力を高め、働き続けてもらうために

秋田県は共働き率が日本の中でも高い県です。そのため、入社しただけで働き続けたい、という意識が女性にもあります。当社は高校卒業の新卒者を採用していますが、意識が高いので非常に育て甲斐がありますし、働きやすい制度を整えていく根底には、そういう従業員が育児や介護で仕事をリタイアするのはもったいない、という思いがあります。

また、もともとは1つの専門分野だけに特化していく職人制度の弊害をなくすために始めた「多能職」制度ですが、制度を通じて事務系でも技術系でも色々な職務を経験し、異動希望も出せますし、必要な資格なども全従業員が取得可能です。ただ、常に学んでいく必要があるため、仕事に対して高いモチベーションが求められます。結果として多能職制度がワーク・ライフ・バランスにつながり、より休みやすい環境が整ったといえます。

従業員の声

充実した制度と温かな雰囲気に支えられて



品質管理課 主任(兼)
Q・E管理責任者
木村 亜由美

● 利用した制度: 育児休業制度、看護休暇制度、事業所内託児所

出産後3カ月で復帰

12年前に育児休業を取得し、3カ月で復帰しました。会社の制度としては1年間まで可能でしたが、ちょうど出産した時に会社内に託児所が設置され、また、近所に子育て家庭が少なく、子育ての話ができる人もいなかったため、早めに会社に復帰し、他の子育て経験者の従業員の方に相談したいと思っていました。復帰できたのは、やはり会社に託児所があったからです。昼休みなどの休憩時にすぐ顔を見に行ったり、一緒にお昼ご飯を食べたりもできるので、他の保育所であれば躊躇したと思います。

当時、託児所には、5~6名の子どもがいました。小学校に入るまで預けられますが、通常、子どもが5歳位になると、小学校入学に向けて大勢の子どもとコミュニケーションを取る機会をつくるため、一般の保育所へ転所させています。ただ、当社は土曜勤務もあるため、家で子どもが独りになってしまう時などは、小学校に上がっても、託児所に来て終業まで過ごす子どもも多いです。

気兼ねなく制度を利用できる雰囲気

妊娠中は、男性女性にかかわらず周囲は気遣ってくれましたし、育児休業の取得も当然のように受け止めてくれました。今も、子どもが病気になった時などは、看護休暇制度を利用し、数時間外出したりもするのですが、気兼ねなく取れますし、周囲も「行っておいで」と温かく言ってくれる雰囲気です。また、多能職制度でお互いの職務内容を理解しているため、担当が休みで不在の時や繁忙期などは事務系・技術系にかかわりなく助け合っており、従業員全員にお互いを思いやる気持ちが浸透しています。



カミテチャイルドハウスの様子